資料1

松山市こども計画アンケートについて

令和8年11月12日

アンケート調査結果について

1. アンケート調査結果について

(1)調査目的

「松山市こども計画」で設定している成果指標(KPI)の各年度の状況を確認するとともに、市のこども施策や市に対する市民の声を聴き取り施策反映につなげる。

(2)調査概要

項目	内容
実施期間	令和8年9月25日(金)～令和8年10月23日(金)　※11月30日(月)まで期間延長
対象者	小学5年生以上の市内在住者(市内の学校等に通学する学生を含む)
実施方式	LoGoフォームを活用したインターネット回答(無記名式)
アンケート内容	・松山市こども計画で設定している成果指標の項目 ・こどもの権利に関する項目 ・市のこども施策、市への要望等 ※アンケートの設問は市ホームページに掲載 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kosodate/boshi/r8anke-to.html
周知方法	広報紙、市公式LINE、まつやまこども・子育てサイト「にこっと」への掲載 教育・保育施設、高等学校等各種学校等への郵送依頼のほか開催会議等を通じた依頼
調査結果の活用	アンケート結果は市HP、「にこっと」などで公表し、令和8年度分の「松山市こども計画」の点検・評価、市のこども施策等に反映

アンケート調査結果について

（3）回答数（令和8年10月23日現在）

回答者の年代	回答数	（参考）R8年4月時点の住基人口	（参考）R7年度回答数
小学生（10歳、11歳）	4,212	8,627	3,011
中学生（12歳～14歳）	3,994	13,450	1,945
15歳～17歳	598	13,830	391
18歳～39歳	196	104,728	645
40歳～64歳	265	169,670	658
65歳以上	11	146,377	32
不明・未回答等	51		93
合計	9,327		6,775

※住基人口：地区別年齢別男女別住民基本台帳登録人口（令和8年4月）
※実施期間を11月30日まで延長して実施中

アンケートに対するご意見

ご意見	回答
市内の放課後等デイサービス事業所へ調査協力のお願いを行った。現在のアンケート調査は、障がいのあるこどもたちには、回答しづらい要素が多いと感じるため、こどもの声や意見を届けるために、職員の方にどのようなサポートをご協力いただくのか、少し具体的に伝えた。	ご意見を参考に、期間延長中に、障がいのあるこどもたちが回答しやすいよう、事業所等へ可能な範囲でご協力をお願いする文書をこどもえがお課からも発出します。
今年度の周知方法の改善については第1回会議で各委員会から意見があったと思うが、今回のアンケートの周知でどのように反映されたか、また、苦労された点など課題があれば共有してほしい。大学関係者や企業関係者も委員にはおられるので、その力も社会資源として、市の調査に協力できればと考える。	今回は、委員のご協力も経て、校長会を通じてアンケートの周知・啓発の依頼をおこなった結果、高校生年代までは回答数が増加しました。一方、18歳以上は回答数が減少しており、現在、期間を延長して学祭等のイベントでチラシを配布するなどより多くのご意見をいただけるよう周知・啓発を行っています。大学等にも情報発信にご協力をいただいているところではありますが、様々な情報の中で、回答してもらえるよう興味をもってもらうための工夫について検討課題として認識しています。
こども計画のアンケート調査の周知方法と回収率との照合（回収結果と合わせて分析が必要のため、第2回以降でも）を含めて教えてほしい。	周知方法については、市ホームページ、公式LINE、こども・子育てサイトでの発信のほか、小中学校、高校の校長会の協力を経て、各学校長への周知啓発を行っていますが、何を見て回答したかについてはアンケートの仕組み上照合できないため、回収率をお示しできません。